

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員	
取組項目	「まちとも」等と連携した放課後のスポーツ推進				
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。 後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。				
指標	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数		現状値 (2023年度)	3地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区
実施状況	3地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【スポーツ推進委員】 ○忠生第三小学校(木曽地区) ・ポッチャ、モルックを実施した。 【地域スポーツクラブ】 ○忠生第三小学校(木曽地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部 ・講師を派遣し、スポーツレクレーションやポッチャ教室を開催した。 ○南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC ・講師を派遣し、スポーツトレーニング教室等を開催した。 ○木曽境川小学校(木曽地区) ココア ・講師を派遣し、ダンスレッスンを開催した。				
総括	連携実績がある学校については継続して行うことができた。また、地区は同一であったが、新たに1箇所の地域スポーツクラブで連携の取り組みを開始した。2025年度以降も、新たに連携事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-2		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	市内10地区のスポーツマップの更新・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小中学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校42校に配布した。 ・新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。 ・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-3		実施主体	教育委員会	
取組項目	小学校連合体育大会の開催				
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。				
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2023年度)	42校	
			目標値 (2028年度)	38校	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	42校	40校	39校	39校	38校
実施状況	38校	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2024年度は、バス借上げ料高騰の影響で、近隣小学校(2～3校)ごとで実施することとした。 年度途中での変更であったため、42校を18グループに分けて、学校間で調整を図りながら進め、雨天の場合は中止とすることとした。 9月から10月にかけて各グループの会場校で16グループが実施し、2グループが雨天中止となった。 【参加校】 町田市立小学校 38校 【競技種目】 ・100m走 ・50mハードル走 ・走り幅跳び ・走り高跳び ・800m走 ・400mリレー ・長なわ 等 ※各グループで競技種目を決めて実施。				
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。規模が縮小されたため、子どもたちの待ち時間も少なく、円滑に運営することができた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-4		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
取組項目	トップアスリートとの交流機会の創出				
取組内容	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。 後期では、バラスポーツに関わる選手との交流を継続して実施し、夢や希望、憧れの醸成を図ることで子どものスポーツへの興味、関心を高めます。				
指標	トップアスリートとの年間交流回数		現状値 (2023年度)	年17回	
			目標値 (2028年度)	17回	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	17回	17回	17回	17回	17回
実施状況	19回	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【こどもマラソン大会】 ・町田市出身の関根花観さんに出演いただき、スターターや参加選手にメッセージを頂戴したほか、表彰式でのプレゼンターや選手と一緒に走るなどの交流を図った。 【市立小学校】 ・2024年パリパラリンピックの銀メダリスト選手によるパラバドミントン体験会 【総合体育館】 ・元U-17・20・23日本代表コーチによるフェンシング教室 ・Vリーグ所属選手、元アメリカ代表バレーボール選手によるバレーボール教室 ・日本ハンドボールリーグ出場選手によるハンドボール教室、元日本代表選手、神奈川大学(関東一部リーグ)所属選手によるバスケットボール教室、NHK紅白歌合戦にも出場経験のあるプロダンサーによるHIPHOPダンス教室、車椅子バスケットボール体験会、車椅子ハンドボール体験会、ブラインドサッカー体験会を実施。 【三輪みどり山球場】 ・元日本代表サッカー選手によるサッカー教室 【室内プール】 ・元日本代表選手によるカヌー体験会 【町田中央公園】 ・元日本代表陸上選手による走り方教室 ・元日本代表選手によるバレーボール教室・バレーボールイベントを実施。 【緑ヶ丘グラウンド】 ・元リガーによるサッカー教室 【野津田公園】 ・青山学院大学陸上競技部所属選手による競技会(計4回) ・元オリンピック出場選手によるレスリング体験会と元ブラインドサッカー日本代表選手による体験会 ・5大学(明大、青学大、立大、中大、法大)の駅伝選手による競技会 ・八王子ロングディスタンス 実業団に加盟する長距離のトップアスリートが集結する大会。 【緑ヶ丘グラウンド】 ・元プロサッカー選手によるサッカー練習会・交流会を実施。 【室内プール】 ・元日本代表選手によるカヌー体験会を実施。(全4回) 【鶴間公園】 ・プロサッカー選手によるゴールキーパー教室を実施。				
総括	既存の取り組みに加え、HIPHOPダンスなど、新しい競技の教室を開催し、年齢や性別を問わず、幅広くスポーツの楽しさを伝えることができた。 トップアスリートとの交流機会において、様々な競技を実施したことで、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方にスポーツの楽しさを伝えることができた。今後も継続して、トップアスリートとの交流の機会を創出することで、市民のスポーツへの関心を高めていく。 また、パラバドミントンインドネシア代表との交流やブラインドサッカーについては、オリパラのレガシーとして、今後も継続的に実施することを予定している。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-5		実施主体	教育委員会	
取組項目	部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用				
取組内容	部活動の地域連携の推進や部活動指導員を活用することで、子どもたちが、スポーツ活動を継続して楽しむことができる機会を確保することを目指します。				
指標	①町田市における部活動の地域連携に関する方針検討と決定 ②国や都の制度を活用した部活動の地域連携の推進		現状値 (2023年度)	-	
			目標値 (2028年度)	①- ②拡充	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①方針決定 ②検討	①- ②実施	①- ②拡充	①- ②拡充	①- ②拡充
実施状況	①方針決定 ②検討	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2024年度は、部活動地域連携検討委員会を5回実施することとした。 検討委員会では、教員・生徒アンケートによる意識調査の分析、他地区の部活動地域連携・地域移行の取組についての分析、町田市立部活動の地域連携・地域移行に向けた方針及び計画や、市内地域連携モデル校の計画内容について協議を行った。 3回目以降の検討委員会では、文化スポーツ所管課も交えて、協議を行った。 【部活動指導員配置数】 59名(延べ人数)				
総括	アンケートによる意識調査の分析から、部活動の地域連携・地域移行に関する課題を把握することができた。 町田市における地域連携・地域機構に向けた方針及び計画について、協議を深めることができた。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
取組項目	従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に取り組みたいと考える企業へのスポーツ情報等の提供				
取組内容	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援するため、関連する情報や、スポーツ機会を提供します。				
指標	機会提供回数		現状値 (2023年度)	2回	
			目標値 (2028年度)	10回	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	調整	2回	4回	8回	10回
実施状況	調整 1回	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【鶴間公園】 ・グランベリーパーク内の社員研修へヨガ講師を派遣し、ヨガ体験会を実施。 【町田商工会議所】 今後、事業所におけるスポーツ推進の取組みを実施していくための調整を開始した。				
総括	指定管理者が有するノウハウを活かすことで、事業所によるスポーツ推進を支援することができた。 今後も、より多くの市内企業において、スポーツ推進が図れるよう、努めていく。 また、引き続き、商工会議所と連携しながら、調整を行っていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム	
取組項目	ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信				
取組内容	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずにできる運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。				
指標	運動関連動画等の発信数		現状値 (2023年度)	60件	
			目標値 (2028年度)	60件	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	60件	60件	60件	60件	60件
実施状況	166件	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【町田市立総合体育館】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【成瀬クリーンセンターテニスコート】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【三輪みどり山球場】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【緑ヶ丘グラウンド】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【室内プール】 延べ44件 ・おうちでできる かんたん運動動画 (Facebook) を配信。 【町田中央公園】 延べ70回 Instagramを開設し、施設や教室案内などを投稿。 【スポーツ振興課】 ・ショート動画やすきま時間で行うトレーニング動画4本を配信。				
総括	SNSを有効に活用し、施設内の掲出やホームページ以外で、各種取り組みをPRすることができた。 今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。 忙しい世代でもすきま時間や通勤途中などに、気軽に視聴できるよう新たにショート動画を作成し、公開した。今後もショート動画を中心に動画の作成を続けていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 スポーツ協会 指定管理者	
取組項目	家族で参加できるスポーツイベントの開催				
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。 後期では、より多くのイベントで、親子と一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。				
指標	①すば一つ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数	現状値 (2023年度)	①延べ2,700人 ②172人		
		目標値 (2028年度)	①延べ2,700人 ②年180人		
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人
実施状況	①延べ3,200人 ②年179人	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き盛り世代・子育て世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナー（モルックやカーレット）の設置を行った。 また、体育館周辺の近隣小学校や高齢者施設へのチラシ配布によるイベント周知を行った。 体力テストの測定対象は20歳から79歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、6～19歳の方の測定用紙を用意したほか、小学生以下には参加賞を用意し、幅広い年代の方にご参加いただけるよう工夫した。また、包括連携協定を締結した民間事業者に協力いただき、骨密度測定会を実施した。				
総括	これらの取り組みを行った結果、多くの子ども連れ家族にご参加いただくことができた。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-1		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	高齢者へのニュースポーツ啓発				
取組内容	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。				
指標	高齢者支援センターと連携して事業を実施した地域		現状値 (2023年度)	5回	
			目標値 (2028年度)	10回	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	6回	7回	8回	9回	10回
実施状況	4回	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	未実施である堺地域に事業実施の打診を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やスケジュールの都合等により折り合いがつかず、講習を行うことができなかった。しかし、既に行った南第一、第二、第三、忠生第一、第二高齢者支援センターや自主グループから相談があった際には引き続きフォローを行っている。 今まで実施を行った南第一、第二、第三、町田第一、忠生第一、第二高齢者支援センターや自主グループから相談があった際には引き続きフォローを行っており、新しくグループを立ち上げる活動も支援している。				
総括	今まで依頼を受けた支援センターからは、レクリエーションの依頼が入ってくるが、スポーツ推進委員が必ず行ける状況ではない。スポーツ推進委員の大幅な入れ替わりもあり、仕事をしている若い人たちは平日活動はむずかしく、夜間活動については高齢者の指導員はむずかしい。 今年度は新たな地域で実施することは叶わなかった。 次年度に向けては、改めて地域介護予防推進委員会議の場で、事業についての説明を実施するとともに、個別にも打診を行っていくことで実施地域を拡大していきたい。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
取組項目	温浴施設等を活用したスポーツ環境の充実				
取組内容	室内プールや、併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。 後期では、スポーツ習慣がない高齢者の方でも参加しやすい教室事業を定期的実施することで、高齢者のスポーツ推進を図ります。				
指標	高齢者の方がより参加しやすい教室の実施		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【室内プール】 延べ1,057人 ・温浴施設棟の多目的室の開放事業(卓球)、ボッチャ・モルックの貸出及び体験イベントを実施。				
総括	施設の開放事業や備品の貸出などを行うことで、多くの高齢者にスポーツにかかわる機会を提供することができた。 今後も、取り組み内容を充実させることで、より多くの高齢者がスポーツにかかわることができる機会を創出していく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-1		実施主体	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者	
取組項目	スポーツ・レクリエーション教室等の開催				
取組内容	障がい者(児)スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。				
指標	年間開催回数 ①障がい児スポーツ教室(体育館、プール) ②指定管理者等による教室・イベント事業		現状値 (2023年度)	①体:33回、プ:30回 ②30回	
			目標値 (2028年度)	①体:36回、プ:36回 ②40回	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①体:36回 プ:36回 ②30回	①体:36回 プ:36回 ②32回	①体:36回 プ:36回 ②34回	①体:36回 プ:36回 ②37回	①体:36回 プ:36回 ②40回
実施状況	①体:34回 プ:26回 ② 32回	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【総合体育館】②3回 ・まちだ☆こどもフェスタ2024、チャレンジマッスル2024、市民体カテストを実施。 【室内プール】①延べ26回、②延べ22回 ・①障がい者(児)スポーツ教室(すみれ教室プールを活用)、②ボッチャ&モルック体験会、②フライングディスク体験会を実施。 【町田中央公園】①延べ34回、②延べ7回 ・①障がい者(児)スポーツ教室、②障がい者卓球教室、②ボッチャ、モルック体験会を実施。 ※障がい者スポーツ教室(サン町田旭体育館、町田市子ども発達センター温水プール)を開催した。 【実施主体】障がい福祉課 【内容】土曜日(月2～3回)の午後、障がい児(者)を対象に、有償ボランティア指導員によるスポーツ教室を実施した。体育館では体操、マラソン、バドミントン、バスケットボール、トランポリンを行い、温水プールでは水泳を行った。 延べ参加人数:体育館952人、プール168人				
総括	体育館教室・プール教室ともに、指導員及び親の会と協働し、参加者一人ひとりに対応した丁寧な指導を行うことができた。台風の影響により、開催中止と判断した日程があったが、参加者の安全確保を最優先に、適切な運営を行うことができた。 既存の障がい者(児)スポーツ教室を継続して実施するとともに、各施設で行われるイベントなどで、バラスポーツを体験できるブースを設置したことにより、2024年度に比べ、参加者人数は、大幅に増加した。 2025年度には、東京都において、デフリンピックが開催されるため、更に、バラスポーツに触れる機会の創出に努めていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-2		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催				
取組内容	市内の小学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。				
指標	年間参加者数		現状値 (2023年度)	1,116人	
			目標値 (2028年度)	1,200人	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人
実施状況	696人	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	市内小学校を対象にパラバドミントンの体験教室を実施し、競技説明や競技用車いす体験、バドミントン体験を行った。また、さらなる普及啓発を図るため、4校で1クラス2時間で実施し、車いすでの段差の乗降や車両見学、競技用車いすリレー、バドミントン体験時間の拡充を行った。				
総括	パラバドミントン教室を市内小学校12校696人の児童に対して実施することができた。従前は1クラス1時間だったものを、今年度は、原則1クラス2時間実施として実施校を募集し、教室1回あたりの実施内容の充実を図った。 加えて、今年度は日本ブラインドサッカー協会とASVベスカドーラ町田と連携し、ブラインドサッカーの体験教室を実施した。 2025年度もパラバドミントン体験教室を継続して実施するとともに、ブラインドサッカー体験教室を行っていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-3		実施主体	指定管理者 スポーツ振興課	
取組項目	障がい者のスポーツ参加機会の提供				
取組内容	インクルーシブスポーツ※を推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知をすることにより、利用者数を増やします。 ※ インクルーシブスポーツ・・・子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ。				
指標	スポーツ施設開放年間利用者数		現状値 (2023年度)	年8,337人	
			目標値 (2028年度)	年20,000人	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	年9,200人	年9,400人	年9,600人	年19,800人	年20,000人
実施状況	10,189人	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【総合体育館】 延べ1,712人 ・トレーニング室の機器の入れ替えなどの環境改善を実施。 【緑ヶ丘グラウンド】 延べ355人 ・グラウンドゴルフ教室や団体利用を促進する取り組みなどを実施。 【室内プール】 延べ6,900人 ・水中歩行専用レーンの設置やバラスポーツ体験教室などを実施。 【町田中央公園】 延べ1,222人 ・トレーニング室の機器の入れ替えなどの環境改善を実施。				
総括	市と指定管理者が連携・協力し、積極的にイベント実施や情報発信などを行ったことにより、昨年度に比べ、利用者数が大幅に増加した。 2025年度には、東京都において、デフリンピックが開催されるため、更に、障がい者がスポーツに親しめる環境の創出に努めていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-4		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	障がい者スポーツ大会の開催				
取組内容	市内福祉施設の障がい者及び個人参加の障がい者を対象として、障がい者スポーツ大会を実施します。				
指標	開催回数	現状値 (2023年度)		1回	
		目標値 (2028年度)		1回	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	1回	1回	1回	1回	1回
実施状況	1回	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2024年11月2日に町田市立総合体育館で第51回障がい者スポーツ大会を実施した。 【実施主体】スポーツ振興課、障がい福祉課 【内容】市内福祉施設の障がい者及び個人の障がい者が参加した。また、各施設職員以外にも、スポーツ推進委員、障がい児スポーツ教室指導員、町田ライオンズクラブ、町田ガールスカウトなどのボランティアスタッフも数多く参加し、大会運営に携わった。競技としては、徒競走、バン取り競争、対抗リレー、玉入れ、ボッチャ、バドミントン、卓球、フライングディスクを実施した。また、観覧できるアトラクションとして、ASVベスカドーラ町田チアダンスチームFiore、利根川Kスタジオエアロビクスによるダンスを実施した。 延べ参加人数:786人				
総括	新型コロナウイルス感染症の流行によりイベントの参加を自粛していた団体も、今年度は積極的に参加いただくことができ、2023年度に比べ、参加団体は3団体増加した。 また、今年度の障がい者スポーツ大会は、競技数を増やした他、民生委員・児童委員が参加者と共に競技に参加する形式での大会運営を行った。さらに、FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター「ゼルビー」や、ASVベスカドーラ町田のマスコットキャラクター「ドーラくん」を呼び、大会を盛り上げた。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-5		実施主体	スポーツ振興課 施設管理者	
取組項目	(仮称)町田木曽山崎パラアリーナを活用したパラスポーツに関わる機会の提供				
取組内容	(仮称)町田木曽山崎パラアリーナを活用し、パラスポーツに関わる様々な機会を提供し、障がい者のスポーツ推進や、パラスポーツの普及啓発に取り組み、共生社会の実現を目指します。				
指標	施設を活用した機会提供の実施		現状値 (2023年度)	-	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	-	事業検討	事業検討	実施	実施
実施状況	-	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・PFI手法の導入による施設整備に向けて、7月から参加事業者の公募を開始したものの、期日までに提案書類の提出がなかったため、11月に公募を中止した。 ・事業者へのヒアリング結果などを踏まえ、2025年度中の再公募に向けて、検討を進めていく。				
総括	2024年度中の事業者選定には至らなかったものの、事業者へのヒアリング結果などを踏まえ、2025年度中の再公募に向けた検討を進めていく。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-1		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣				
取組内容	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。 後期ではさらに、大学や企業にボランティア活動に関する情報を積極的に発信することで、スポーツを支える人材の拡充を図ります。				
指標	連携団体数		現状値 (2023年度)	7団体	
			目標値 (2028年度)	10団体	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	7団体	7団体	8団体	9団体	10団体
実施状況	3団体	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	○法政大学 ・法政大学の教員や学生が講師となり、協定に基づくスポーツ教室（バドミントン、陸上競技、サッカー、バスケットボール）を実施した。 ○青山学院大学・相模女子大学 ・青山学院大学・相模女子大学の学生に、まちカフェに向けた会議に出席いただいた。				
総括	スポーツ教室への講師派遣等ができた一方、例年実施していた、各種大会等への学生ボランティアの派遣ができなかった。 2025年度以降も、連携の実施に向け、各団体と調整を行う。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-2		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	まちだサポーターズの活動機会の充実				
取組内容	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。				
指標	年間延べ活動参加者数		現状値 (2023年度)	年3,384人	
			目標値 (2028年度)	年3,400人	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人
実施状況	年 2,625人	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・第1四半期活動 29回644人 ・第2四半期活動 29回637人 ・第3四半期活動 43回830人 ・第4四半期活動 20回514人 ・ゼルビア活動(2024シーズン) 19試合 405人 ・ベスカドーラ活動(2024-2025シーズン) 11試合 230人				
総括	2023年度と比べて、多摩ロードレースなどの大規模イベントが無かったことから、活動参加者数は800人減少した。 案件の大多数を占める、FC町田ゼルビアホームゲーム開催時の活動については、クラブ担当者ともまちだサポーターズの意見交換会を実施した。次シーズンに向け、活動参加者を増やしていきたい。 まちだサポーターズで企画したイベントや、スキルアップ研修の開催など、新たな取り組みを実施したところ好評だった。 今後、より一層活動に参加しやすい環境を提供し会員の増加に繋がるよう努めていく。また、庁内へのまちだサポーターズの存在の周知を図り、活動機会を増加させたい。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	地域密着型スポーツ推進委員の育成				
取組内容	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。 後期では、町内会自治会等の様々な地域団体と連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。				
指標	スポーツ推進委員が町内会自治会等と連携した地区数		現状値 (2023年度)	3地区	
			目標値 (2028年度)	10地区 (市内全域)	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	4地区	5地区	6地区	8地区	10地区
実施状況	1地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	成瀬地域に在住の委員を通して、成瀬地区の自治会で開催されたニュースポーツのレクリエーション大会に関わり、講師として指導を行った。				
総括	直ちに地区協議会と連携を行うことは難しい中、一つの実績として関わることができた。今後も地区での実績作りを中心に取り組み、将来的に地区協議会と継続的な連携体制が取れるよう進めていきたい。 また、並行して、地域に居住する委員などの意見を参考にしながら、引き続き連携体制のスキームを検討していく。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ	
取組項目	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進				
取組内容	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。 後期では、町内会自治会や小学校等の様々な地域コミュニティと連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。				
指標	町内会自治会や小中学校等、 地域コミュニティと連携したクラブ数		現状値 (2023年度)	5クラブ	
			目標値 (2028年度)	10クラブ (市内全域)	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	7クラブ	8クラブ	9クラブ	10クラブ	10クラブ (市内全域)
実施状況	7クラブ	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	○アスレチッククラブ町田 地域住民向けのスポーツ教室(バントワーリング)に講師を派遣した。 ○相原地域総合スポーツクラブ 地域住民向けのスポーツイベントや、ジョギングイベントを開催した。 ○おやまスポーツ文化倶楽部 地域町内会と連携し、イベントを開催した。 ○コクア 忠生市民センター祭りに参加した。小学校へ講師を派遣し、ダンスレッスンを開催した。 ○ドリームスポーツ 中学生を対象に陸上競技の指導を実施した。 ○町田スポーツ文化ネットワーク 小学校に講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○スポーツ塾J.VIC 小学校に講師を派遣し、スポーツトレーニング教室等を開催した。				
総括	地域住民を対象にした、イベント開催や講師派遣などを行うことで、地域の方との交流を深め、相互の連携を図りながらスポーツ推進を行うことができた。 「まちとも」との連携のほか、地域イベントへの参加・協力を通じて、引き続き地域住民と関係性を築き、地域に根差した活動の定着を図っていく。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-2		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 スポーツ協会 指定管理者	
取組項目	【再掲】家族で参加できるスポーツイベントの開催				
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。 後期では、より多くのイベントで、親子で一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。				
指標	①すば一つ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数		現状値 (2023年度)	①延べ2,700人 ②172人	
			目標値 (2028年度)	①延べ2,700人 ②年180人	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人
実施状況	①延べ2981人 ②年179人	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナー（モルックやカーレット）の設置を行った。 また、体育館周辺の近隣小学校や高齢者施設へのチラシ配布でのイベント周知や館内放送で体力テストを行っていることを来館者へ周知した。 体力テストの測定対象は20歳から79歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、6～19歳の方の測定用紙を用意して幅広い年代の方にご参加いただいた。包括連携協定を締結した明治俣に協力いただき、骨密度測定会を実施した。				
総括	小学生用の測定用紙と小学生以下には参加賞を準備し、ファミリーで測定会に参加できるよう配慮した。その成果もあってか、特に小学生や未就学児のお子様も多くご参加いただいていた。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-3		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	まちだサポーターズの組織化				
取組内容	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営に欠かせない存在に育成します。 後期では、まちだサポーターズが今後も組織として活動を継続できるよう、スキルアップ研修の実施等により、支援します。				
指標	まちだサポーターズの育成に関するスキルアップ研修やミーティングの実施状況		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う有志「総務班」の活動を今後も継続していく為、6月の通常総会にて既存のメンバーからは5人が継続、加えて新たに3人を選任し、計8人の総務班となった。 ・総務班と事務局との連絡会議を月一回の定例会を開催し、総会やmfT、新人研修会、その他の企画に関する事項について話し合いを行った。 ・まちだサポーターズ自身が企画し、運営した聖火リレーコースを歩く企画を7月に実施。、37名のまちだサポーターズが集まったが、当日の酷暑により中止となった。10月にはポッチャ大会を実施し、50名が参加した。 ・スキルアップのための研修では、11月に公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック準備運営本部から講師をお招きして2025年に開催されるデフリンピックに関する講義を実施した。2月にはデフリンピック企画「みんなのデフリンピック」を視聴して、デフリンピックへの理解を深めた。				
総括	まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う、有志会員から構成される「総務班」の活動をと おして、会員の育成を図った。 10月には自主運営事業として、ポッチャ大会を実施し、50名が参加した。 スキルアップ研修では、11月に公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック準備運 営本部から講師を招き、2025年に開催されるデフリンピックについて理解を深めた。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成などに取り組んでい く。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員	
取組項目	【再掲】「まちとも」等と連携した放課後のスポーツ推進				
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。 後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。				
指標	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数		現状値 (2023年度)	3地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区
実施状況	3地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【スポーツ推進委員】 ○忠生第三小学校(木曽地区) ・ポッチャ、モルックを実施した。 【地域スポーツクラブ】 ○忠生第三小学校(木曽地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。 ○小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部 ・講師を派遣し、スポーツレクレーションやポッチャ教室を開催した。 ○南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC ・講師を派遣し、スポーツトレーニング教室等を開催した。 ○木曽境川小学校(木曽地区) コクア ・講師を派遣し、ダンスレッスンを開催した。				
総括	連携実績がある学校については継続して行うことができた。また、地区は同一であったが、新たに1箇所の地域スポーツクラブで連携の取り組みを開始した。2025年度以降も、新たに連携事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-2		実施主体		
			スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	大規模スポーツ広場6箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備				
取組内容	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。				
指標	スポーツ施設数(公の施設)		現状値 (2023年度)	29施設 (有料開放している学校4施設含む)	
			目標値 (2028年度)	35施設	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	42施設	42施設	42施設	44施設	44施設
実施状況	42施設	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	○境川金森調節池上部(旧西田スポーツ広場)公園 ・調節池工事に伴う原状復旧について、東京都と費用負担に関する協定書(案)を策定した。				
総括	2024年度は、調節池整備工事の遅れに伴い、公園実施設計を見送った。 2025年度は、境川金森調節池上部(旧西田スポーツ広場)の公園実施設計を行う。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-3		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの更新・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校42校に配布した。 ・新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。 ・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-4		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課	
取組項目	公園のスポーツ利用の促進				
取組内容	2023年度に完成させた市内全10地区スポーツマップの情報更新などを行い、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。				
指標	最新情報の更新、新規掲載施設への対応(既存注意喚起看板の文言修正、新たな設置など)		現状値 (2023年度)	—	
			目標値 (2028年度)	更新対応	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	更新 対応	更新 対応	更新 対応	更新 対応	更新 対応
実施状況	更新 対応	—	—	—	—
2024年度 具体的な 取り組み	・公園利用に関するマナー看板を設置した。 ・スポーツマップの情報を更新し、配布した。				
総括	引き続き情報提供を行い、公園等の利用促進を推進します。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-5		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	夜間照明設備の設置				
取組内容	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。				
指標	夜間照明設置		現状値 (2023年度)	9施設	
			目標値 (2028年度)	9施設 検討	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討
実施状況	検討	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・既存施設における利用者数や稼働状況など、情報収集に努めた。				
総括	設置年数の浅い施設の利用者数や稼働状況などを確認しながら、引き続き、今後の方向性を検討していく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-6		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大				
取組内容	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるようにします。				
指標	連携団体数		現状値 (2023年度)	2団体	
			目標値 (2028年度)	4団体	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	新規2団体 調整	新規2団体 テスト利用	新規2団体 市民利用開始	新規開拓	4団体
実施状況	新規2団体 調整	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【実施】 ○東京家政学院大学(登録団体数:28団体、登録者数:155人) ・テニスコートの利用に関する連携事業を継続して実施した。また、施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。 ○法政大学 ・法政大学のスポーツ施設を活用し、スポーツ教室(バドミントン、陸上競技、サッカー、バスケットボール)を実施した。また、スポーツ教室の情報をホームページに掲載し、事業の周知を図った。				
	【検討調整】 ○サレジオ工業高等専門学校 ・貸出が可能な施設や、連携が可能な事業について、意見交換し、今後の方向性について検討した。 ○和光大学 ・施設利用が可能な時間帯に、市内のスポーツ団体が使用できるよう施設の貸出について、検討した。 引き続き、市民への施設貸出や市との連携に向けた調整を行う。				
総括	サレジオ高専と和光大学と調整を行い、貸し出しが可能な施設や時間帯などについて、意見交換をし、今後の方向性について検討した。引き続き、協議を重ねながら、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるよう、調整を進めていく。 また、継続して実施している、東京家政学院大学でのテニスコート利用に関する連携事業では、施設利用者の利便性向上を図るため、受付業務の電子化を行った。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-7		実施主体	公園緑地課	
取組項目	野津田公園スポーツの森の整備				
取組内容	自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指した第二次野津田公園整備基本計画に基づき、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように野津田公園全体を再整備します。 第2期整備区域であるパークセンターゾーンの設計及び整備工事に着手します。				
指標	スケートパーク(パークセンターゾーンの一部)の整備		現状値 (2023年度)	基本設計完了	
			目標値 (2028年度)	-	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施設計	整備工事	整備完了	-	-
実施状況	基本設計	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【業務概要】 本業務は2023年度からの継続事業である。近隣市区町村において競合施設が増えている中で、野津田公園が選ばれるために、多くの利用者が同時に利用できるレクリエーション施設を追加するなど、利用者を惹きつける魅力向上要素の設計検討、基本設計一式、議会報告、関係者協議などを行った。 【取り組み内容】 ・2024年7月：日本スケートボード協会と協議 ・2024年7月：理事者説明 ・2024年8月：多摩環境事務所と協議 ・2024年9月：9月議会（行政報告） ・2024年11月：地元説明会開催 ・2024年12月：12議会（一般質問） ・2024年12月：多摩環境事務所と協議				
総括	基本設計において、有識者や多摩環境事務所との協議、地元説明会を踏まえて、東京都自然保護条例に適応した計画平面図が確定した。次年度の実施設計においては、この計画平面図を基礎資料として、各種詳細な検討を行っていく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-8		実施主体	公園緑地課	
取組項目	忠生スポーツ公園の整備				
取組内容	最終処分場の上部を活用し、スポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。 峠谷地区(旧埋立地を含む)に複数のスポーツ施設を整備します。				
指標	峠谷地区の整備		現状値 (2023年度)	—	
			目標値 (2028年度)	整備工事	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	－	－	基本設計	実施設計	整備工事
実施状況	－	－	－	－	－
2024年度 具体的な 取り組み	特になし				
総括	特になし				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-1		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	大規模大会等開催時のシティプロモーション				
取組内容	アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ ディヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2022年度から町田市で開催している「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」では、ASVベスカドーラ町田と連携し、ブラインドサッカー体験会を実施した。 【実施主体】特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、ASVベスカドーラ町田 【内容】バラスポーツの理解促進及び共生社会の実現に向けて、ASVベスカドーラのホームゲーム開催時にブラインドサッカー体験会を実施。また、2月8日に開催されたアクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権の告知も行い、大会への集客向上につながった。				
総括	体験会当日は多くの方に参加いただき、大いに盛り上がりを見せた。フットサルをもとにしたスポーツであるブラインドサッカーは、フットサルと親和性が高いため、ASVベスカドーラ町田と日本ブラインドサッカー協会との連携強化が相互の観客数増加や、町田市のシティプロモーションにつながった。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-2		実施主体	教育委員会	
取組項目	【再掲】小学校連合体育大会の開催				
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。				
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2023年度)	42校	
			目標値 (2028年度)	38校	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	42校	40校	39校	39校	38校
実施状況	38校	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2024年度は、バス借上げ料高騰の影響で、近隣小学校(2～3校)ごとで実施することとした。 年度途中での変更であったため、42校を18グループに分けて、学校間で調整を図りながら進め、雨天の場合は中止とすることとした。 9月から10月にかけて各グループの会場校で16グループが実施し、2グループが雨天中止となった。 【参加校】 町田市立小学校 38校 【競技種目】 ・100m走 ・50mハードル走 ・走り幅跳び ・走り高跳び ・800m走 ・400mリレー ・長なわ等 ※各グループで競技種目を決めて実施。				
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。規模が縮小されたため、子どもたちの待ち時間も少なく、円滑に運営することができた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-3		実施主体	ホームタウンチーム スポーツ振興課 広報課 公園緑地課	
取組項目	パブリックビューイング等の実施				
取組内容	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイング等を実施し、オール町田の一体感を創出します。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	パブリックビューイングについては、市が主体となって実施することはできなかったが、ホームタウンチーム独自の取り組みとして、FC町田ゼルビアが2024シーズン中に、南町田グランベリーパークや市内高齢者施設の他、ゼルビアアシストに加盟する飲食店を含め合計70回実施した。 また、町田ゆかりのアスリートを応援する取組みとしては、町田駅ペDESTリアンデッキのデジタルサイネージを活用し、パリオリンピック・パラリンピックに出場した選手情報を放映した。				
総括	場所や機材等の問題により、主体的にパブリックビューイングを行うことができなかった。 上記の問題に加え、放映権等もあるため、今後はホームタウンチームなど様々な団体が行うものに協力をする形での検討を行ってきたい。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの作成・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校42校に配布した。 ・新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。 ・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム	
取組項目	【再掲】ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信				
取組内容	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずにできる運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。				
指標	運動関連動画等の発信数		現状値 (2023年度)	60件	
			目標値 (2028年度)	60件	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	60件	60件	60件	60件	60件
実施状況	166件	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	【町田市立総合体育館】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【成瀬クリーンセンターテニスコート】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【三輪みどり山球場】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【緑ヶ丘グラウンド】 ・毎月1回、公式YouTubeにて、自宅でできるトレーニング動画を配信。 【室内プール】 延べ44件 ・おうちでできる かんたん運動動画(Facebook)を配信。 【町田中央公園】 延べ70回 Instagramを開設し、施設や教室案内などを投稿。 【スポーツ振興課】 ・ショート動画やすきま時間で行うトレーニング動画4本を配信。				
総括	SNSを有効に活用し、各種取り組みをPRすることができた。 今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。 また、スポーツに費やす時間の捻出が難しい傾向にある、30代・40代の働き盛り・子育て世代でも、取り組むことができるよう、すきま時間や通勤途中などに、気軽に視聴できるよう、1分程度のショート動画を作成し、youtubeで公開した。今後もショート動画を中心に動画作成を続けていく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	
取組項目	ホームタウンチームと連携したPR活動				
取組内容	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	拡大
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	・Xを活用したチームのホームゲーム情報、試合結果等、チームに関連する情報発信を実施した。 ・2024年5月からペDESTリアンデッキに、Fリーグの開幕に合わせて横断幕、タペストリーを設置し、ASVベスカドーラ町田のチームカラーで染め上げることによって、一体感のある装飾を行い、気運醸成につなげることができた。 2025シーズンのJ1開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキに横断幕、タペストリーを設置し、ゼルビアカラーに装飾すると同時に店内での応援ウィークを実施した。また、ペDESTリアンデッキに新たに設置されたウォールギャラリーへホームタウンチームの壁面装飾とポスター掲出を実施した。				
総括	町田駅を中心として装飾物を設置したことで、ホームタウンチームのPRに繋がった。一方で装飾物の状態や内容に更新を行う必要性が生じている。更新にあたっては、よりPR効果を上げるために、ホームタウンチームと連携していく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-2		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	【再掲】大規模大会等開催時のシティプロモーション				
取組内容	アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ ディヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。				
指標	－		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	－	－	－	－
2024年度 具体的な 取り組み	2022年度から町田市で開催している「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」では、ASVベスカドーラ町田と連携し、ブラインドサッカー体験会を実施した。 【実施主体】特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、ASVベスカドーラ町田 【内容】バラスポーツの理解促進及び共生社会の実現に向けて、ASVベスカドーラのホームゲーム開催時にブラインドサッカー体験会を実施。また、2月8日に開催されたアクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権の告知も行い、大会への集客向上につながった。				
総括	体験会当日は多くの方に参加いただき、大いに盛り上がりを見せた。同じフットサルを競技するASVベスカドーラ町田と日本ブラインドサッカー協会との連携強化が相互の観客数増加や、町田市のシティプロモーションにつながった。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-3		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	地域活性化につながるスポーツ大会の開催に向けた関連団体との連携強化				
取組内容	「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」などを契機に築いた、関係国、関係団体との連携体制をさらに深めることで、大規模大会開催や事前キャンプ等招致に向けた連携強化を図ります。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	-	-	-	-
2024年度 具体的な 取り組み	2022年度から町田市で開催している「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」主催者である日本ブラインドサッカー協会と町田市及びホームタウンチームであるASVベスカドーラ町田が連携して事業を実施した。 【実施主体】特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、ASVベスカドーラ町田 【内容】バスポーツの理解促進及び共生社会の実現に向けて、ASVベスカドーラのホームゲーム開催時にブラインドサッカー体験会を実施。また、2月8日に開催されたアクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権の告知も行い、大会への集客向上に繋がった。				
総括	同じフットサルを競技とするASVベスカドーラ町田と日本ブラインドサッカー協会との連携強化が図られたことで、互いの実施イベントへの集客向上に繋がった。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	スポーツにチャレンジの開催		
2024年度 具体的な 取り組み	今年度から学校へのチラシ配布は取りやめ子どもセンターや体育館などへの配布とホームページへ切り替えを行った。トランポリンやボール運動、マット運動などを組み合わせで行う複合種目とラダーゲッターやドッジビーなどのニュースポーツ体験を行った。トランポリンのない施設では、バラスポーツ用の車いすを使用した。		
総括	周知方法のうちチラシ配布を止めたことと、ゼルビア招待試合やイベントなどと日程がかぶってしまったためか参加者が減少してしまった。 参加者からは、各回で実施しているアンケートでも、思い切り体を動かすことの楽しさや嬉しさ、親子での運動機会の提供に対する感謝などほぼすべての意見が肯定的であった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 こどもマラソン実行委員会
取組項目	町田市こどもマラソン大会の開催		
2024年度 具体的な 取り組み	今年度からオンライン申込みを開始。申込者数は昨年比で163人増加となった。第52回大会もゲストの招聘や各種ブースの出展を行い、マラソン以外でも楽しんでいただけるような企画を実施した。		
総括	オンライン申込となり、気軽に手続きが出来るようになったことで不参加者が増えたとの見立てができる。参加者数は37人と微増したが、申込者数に対する参加率は82%と前回より低下した。オンライン申込みの導入効果の評価の判断は難しいが、申込者数の増加を見て来年度も計測して行いたい。また、第50回大会からご協力いただいた関係団体とも引き続き連携して、各種ブースの出店をするなど、マラソン以外の部分でも今後につながる成果があった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	【地域スポーツクラブ】 ・法政大学のスポーツ施設を活用し、法政クラブによるスポーツ教室を実施した。 ・各地域子どもセンターで子ども・親子向けスポーツ教室を実施した。また、幼児・保護者向けの運動動画を作成し、ホームページで公開した。 ①スポーツ教室（対面） ・アスレチッククラブ町田 - 実施教室：夏の親子で遊ぼう！ボール遊び！ - 場 所：子どもセンターただON - 参加人数：29人 ②スポーツ教室（対面） ・アスレチッククラブ町田 - 実施教室：親子で一緒にまろやか筋トレ - 場 所：子どもセンターただON - 参加人数：17人 ③運動動画の作成 ・アスレチッククラブ町田 - 実施内容：【ショート動画】FC町田ゼルビア・太田アンパサダーとトレーニング、すき間時間で行うひっそりエクササイズ 【スポーツ推進委員】 12月までに学校からの依頼に応じて市内6校（七国山小学校、南大谷小学校、図師小学校、小山田南小学校、鶴間小学校、小川小学校）でポッチャ教室を実施。493名が参加した。ポッチャ競技についての簡単な講義から、ルール説明、実践を行った。 また七国山小学校では、ポッチャに加えて楽しい遊びの紹介やレクチャーも別日で実施（81名）。サマースクール（小山中央小学校14名）ポッチャ、ラダーゲッター・オータムスクール（鶴川第3小学校6名）ポッチャ・まちとも（忠生第3小学校166名）7月～11月に5回ポッチャやモルックの活動。を実施。		
総括	各地域でスポーツ教室を実施することができた。未就学児と一緒に参加できるような内容にするなど、工夫を行った。参加者からも好評をいただき、満足度は高かった。今後も継続して、教室を実施していくとともに、多くの方に参加いただけるように内容等を工夫していく。 学校ボランティアコーディネーターからの依頼は増加している。今後も継続して、教室を実施していく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	【総合体育館】 延べ8,668人 ・各種体操教室（わんぱく・ちびっこ・よちてく親子・のびわく親子・親子ふれあい・小学生）、小学生球技教室、ジュニアバドミントン教室、バスケットボール教室、HIPHOPダンス教室、ハンドボール教室、チアスクール、フットサルスクール、小・中学生柔道教室、無料体験教室などを実施。 【成瀬クリーンセンターテニスコート】 延べ10,438人 ・成瀬クリーンセンターテニスアカデミー、成瀬ジュニアトーナメント大会、早朝開放（夏季期間中）、親子テニス教室を実施。 【緑ヶ丘グラウンド】 延べ1,079人 ・自主事業 無料開放、親子スポーツ教室、キッズサッカー教室、ニュースポーツ体験教室、体力テスト、かけっこ教室を実施。 【室内プール】 延べ5,604人 ・水泳スクール（幼児・小学生）、キッズダンス、ういてまて、こどもに教えるための水泳教室、体幹運動、ハッピー・リズム体操を実施。 【野津田公園】 延べ4,756人 ・ジュニア陸上教室、部活動地域移行事業を実施。 【鶴間公園】 延べ24,750人 ・子ども向け通年制教室（サッカー・テニス・かけっこ・ラグビー・スタジオ）を実施。 【町田中央公園】 延べ3,365人 ・器械体操教室、バントワーリング教室、HIPPOP教室（キッズ・ジュニア）、体操教室（年少・年中・年長）、トランポリン教室、小学生バドミントン教室、バスケットボール教室、チアキッズスクール、小学生バレーボールスクール、総合スポーツスクールなどを実施。		
総括	各施設において、指定管理者の特色を活かしながら、様々な教室等を実施できた。参加者数についても、毎年、着実に増加しているため、2025年度以降も、引き続き、参加者数が増えるよう努めていく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	【総合体育館】延べ3,209人 ・初心者太極拳教室、初心者初級者卓球教室、はじめてのピラティス教室、初心者アーチェリー教室、初心者和弓教室、ニュースポーツ体験教室、勤労者バドミントン教室などを実施。 【成瀬クリーンセンターテニスコート】延べ7,537人 ・成瀬クリーンセンターテニスアカデミー、早朝開放(夏季期間中)、親子テニス教室を実施。 【緑ヶ丘グラウンド】延べ120人 ・ソサイチ・フットサル教室を実施。 【室内プール】延べ1,910人 ・週末ヨガ教室、早朝公開(プール・トレーニング室)を実施。 【鶴間公園】延べ6,732人 ・ヨガ教室、ピラティス教室、テニス教室、フットサル教室、親子教室プログラムなどを実施。 【町田中央公園】延べ17,198人 ・ヨガ教室(初級・中級)、バドミントン教室、バドミントン初級者個人レッスン、初めてのHIPHOP教室(大人)、勤労者初級者初心者卓球教室、初心者バドミントン教室などを実施。		
総括	各施設において、指定管理者の特色を活かしながら、様々な教室等を実施できた。参加者数についても、毎年、着実に増加しているため、2025年度以降も、引き続き、参加者数が増えるよう努めていく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 保健所
取組項目	生活習慣病予防を目的とした健康づくり教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	町田市立総合体育館にて開催した「チャレンジマッスル」において、減塩について考えてもらうことを目的に「いくつしってる？塩のあれこれ！たべものクイズ」を出題した。運動イベントと絡めつつ、子育て世代に望ましい食習慣を促す機会とした。 クイズ参加者:212名 糖尿病の発症予防を目的に運動教室を開催した。運動と食生活は発症予防に外せない要素であり、併せて教育を行うことでより効果の高い事業となった。 教室参加者:40名(見込み) 【市立総合体育館】延べ9,976人 ・ニュースポーツ開放事業、無料血管年齢測定事業、健康測定会、チャレンジマッスル2024を実施。 【緑ヶ丘グラウンド】延べ20人 ・ボールウォーキング体験教室を実施。 【室内プール】延べ924人 ・水中エアロ教室、お試しエアロ教室、成人水泳教室(クロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ)、ヨガ教室、青竹エクササイズ、のびのび体操&ストレッチ教室などを実施。 【町田薬師池公園四季彩の杜西園】延べ2,090人 ・気功太極拳教室、各種ヨガ教室(気功・シニア・デトックス・ベータシック・パークなど)、やさしいピラティス教室、大人のフラダンス教室などを実施。 【野津田公園】延べ570人 ・パークヨガ教室を実施。 【町田中央公園】延べ3,215人 ・ラテンエアロ教室、エアロビクス教室を実施。		
総括	運動と食事を合わせた取組を行うことで、より効果的な生活習慣病予防へのアプローチができた。 引き続き、運動と食事を合わせた健康づくり教室を実施する。 既存の生活習慣病の予防・改善を意識した教室事業に加え、各施設の指定管理者が有するノウハウなどを活かした新規の取り組みも行うことができた。 今後も、より多くの市民が参加できるよう、種目や内容の充実に努めていく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	【地域スポーツクラブ】 ・高齢者福祉センターで高齢者向けスポーツ教室を実施した。 ・法政クラブ 実施教室: はつらつ運動教室 場 所: ふれあいけやき館 参加人数: 36人 【スポーツ推進委員】 依頼に応じて忠生第一高齢者支援センターでモルック教室を実施。35名が参加した。競技についての簡単な講義から、ルール説明、実践を行った。 また、南高齢者支援センターからの依頼に基づき、レクリエーション指導を行う予定。		
総括	新たな取組みとして、高齢者福祉センターでスポーツ教室を実施することができた。今後も、市民に身近な場所での事業実施を行うほか、魅力ある教室事業を実施することで参加者増に向けて積極的にアプローチしていく。 気軽に参加できるよう事前申し込みを不要とするなど、創意工夫を行った。参加者からも好評をいただき、満足度は高かった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2024年度 具体的な 取り組み	【総合体育館】 延べ38,503人 ・フラダンス教室、初心者太極拳教室、初心者初級者卓球教室、はじめてのピラティス教室、初心者アーチェリー教室、初心者和弓教室、ニュースポーツ体験教室、手ぬぐい体操教室、バドミントン教室、卓球教室などを実施。 【成瀬クリーンセンターテニスコート】 延べ120人 ・早朝開放(夏季期間中)を実施。 【緑ヶ丘グラウンド】 延べ2,925人 ・グラウンドゴルフ教室、ターゲットバードゴルフ教室、ニュースポーツ体験教室を実施。 【室内プール】 延べ6,867人 ・水中エアロ教室、各種水泳教室(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、長距離、ワンポイント)、水中ウォーク教室、初心者水泳教室、ヨガ教室などを実施。 【野津田公園】 延べ3,771人 ・エブリディ健康教室、ユニカール教室、マレットゴルフ一般学習教室を実施。 【鶴間公園】 延べ388人 ・太極拳教室、ボールウォーキング教室などを実施。 【町田中央公園】 延べ16,563人 ・太極拳教室、健康体操教室、卓球教室、自重トレーニング教室、初心者太極拳教室、初めてのフラダンス教室など実施。		
総括	各施設において、指定管理者の特色を活かしながら、様々な教室等を実施できた。 参加者数についても、毎年、着実に増加しているため、2025年度以降も、引き続き、参加者数が増えるよう努めていく。		

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ協会
取組項目	有資格指導者データベースの作成・情報提供		
2024年度 具体的な 取り組み	スポーツ協会事務局及び協会内のスポーツ育成委員会と連携し、各競技団体の有資格者データを作成するための調査及び活用方法等について検討を行った。		
総括	スポーツ協会と協力し、各競技団体及び競技の特性に応じて有資格者データの作成に向けた調査を進め、他自治体等の取り組みも参考にしながら活用方法・課題等を洗い出し、実現に向けて事業を進めていきたい。		

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(野津田公園照明改修)		
2024年度 具体的な 取り組み	JリーグやMARCH対抗戦など、様々なイベントに合わせて色彩豊かなカラー演出が可能となる、カラー演出照明の設置を行った。		
総括	工事が完了した。		

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(総合体育館改修)		
2024年度 具体的な 取り組み	・総合体育館の改修工事に向け、工事・2027年度実施予定の大規模改修に先立ち、構造躯体の健全性などに関する劣化診断などの調査を実施した。 ・その調査結果を踏まえて、改修計画にかかる内容の精査や検討を行った。 ・剥離の恐れがある外壁などの設計及び改修に着手した。		
総括	・2027年度実施予定の大規模改修に向けて、2025年度には、基本・実施設計に着手する予定。		